

■都立松原高校全日制課程における教科指導の重点

| 教科 | 重点課題 | 取組 | 発展的取組 |
|----|---|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・授業における「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の指導を重点的に実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル校内選考実施 |
| 社会 | 地理・歴史・公民に関する事象についての基本的な知識の定着と応用力の涵養。 | 地理総合、歴史総合、公共で基礎知識の定着を図り、探究科目で応用力を育てる。 | 共通テストの過去問題や大学入試問題の過去問を扱い、知識を活用し、探究する力を磨く。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力等を育成するため、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、数学的な表現を解釈する。 ・必要に応じて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、学習の効果を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学を学習する意義などを実感できるよう工夫する。日常の事象や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理して問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って考察する活動。 |
| 理科 | 「観察・実験」を踏まえた学習活動の充実 | 自然現象や身近な生活環境に対する思考力・判断力・表現力及び情報活用能力を身につけさせる観察・実験の実施。 | 教科書レベルの実験だけでなく、大学入試レベルの発展的な実験活動の充実。探究の発表や実験レポートのまとめ方についての学習の充実。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツに主体的に取り組む。 ②健康・安全を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①-1練習時間の確保により、互いに助け合い、高め合う授業展開にする。 ①-2スキルチェックを定期的実施することで、自主的な練習への取り組みを促す。 ②-1授業時の安全に配慮するような授業計画の作成。 ②-2ケガの予防、防止に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ①-1フェアなプレーを大切にしようとする。 ①-2一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとする。 ②-1競技ごとのケガを予測しながら環境を整えてプレーをする。 |
| 芸術 | 自己のイメージをもち、創造的な表現を工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に芸術の幅広い活動に取り組めるよう工夫する。 ・作品や演奏を発表する機会を積極的に設ける。 | 芸術のよさや美しさを深く味わうことができるよう工夫する。 |
| 英語 | <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で観点別評価の考え方を各科目で共有、統一。 ・授業における「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の指導を重点的に実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各科目、学期に1回パフォーマンステスト等を実施（聞くこと、書くこと） ・授業内で教科書の内容に対する自分の考えを英語で発表させている。（話すこと） ・JETを活用したプレゼンテーション作成等 ・次世代リーダー育成道場 ・実用英語検定1、2年生は年間1度の受験を推奨（CBT含む） |
| 家庭 | 将来を見通した人生設計と生活を科学的な視点で捉える | 日本の現状と将来の予測から自分の将来設計をたて、自分に必要な生活技術、知識を主体的に習得できるよう促す | 他教科で学んだことが生活に応用することができることを学ばせる |
| 情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決能力を養う力を身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・情報Ⅰ各単元の課題で、グループ（協働学習）による探究的な実習を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅱでプログラミングを用いて自分なりの作品を作成する。 ・powerpointなどを用いて自分たちで資料を作成し、発表する。 |